

Title	中小企業の成長戦略 - サービス・プロフィット・チェーン理論を応用した成長モデル -
Sub Title	
Author	横山, 一作(Yokoyama, Itsusaku) 青井, 倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2095号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2095

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	青井 研究会	学籍番号	80430982	氏名	横山 一作
(論文題名)					
<p>中小企業の成長戦略 ーサービス・プロフィット・チェーン理論を応用した成長モデルー</p>					
(内容の要旨)					
<p>本研究では、サービス・プロフィット・チェーン理論に着目し、この理論を応用して、サービス業を主体とする中小企業が成長を果たすための施策を探ることを目的としている。サービス・プロフィット・チェーンの理論のなかでは従業員満足度の向上がサービス財を扱う企業の成長性、収益性の拡大を見込む鍵であることを主張しているが、この理論を中小企業に当てはめる上で、中小企業の従業員満足を構成する要素は何であるのか、そしてその要素のなかでも、特に従業員満足に影響を及ぼす要因はなんであるかを解明し、今後の中小企業の成長性における提言に繋げようと試みた。</p> <p>従業員満足を構成する要因の解明を試みる上で、仙台市に拠点を置く中小企業 25 社の協力を得て、計 327 名の従業員の方々に対しアンケート調査を実施し、その調査結果をもとに従業員満足度の向上は中小企業の成長性に影響を与えるのか、中小企業従業員の満足度はどのような要素で構成されているのかを分析した。</p> <p>下記に、本調査とその後の統計的分析から得られた結果を 2 点に集約する。</p> <p>第 1 は、中小企業の成長性に関する 4 つの指標のうち、従業員満足度に関する要因は 3 つに対して、寄与しているという統計的実証結果が得られた。この結果から、中小企業において、従業員満足度の向上は成長性に寄与するという仮説は保持されたと判断した。</p> <p>第 2 は中小企業の従業員満足度がどのような構成要素になっているのかという点を分析した結果、「チャレンジ度」、「知名度」、「給与」、「労働条件」、「リレーション」、「職場環境」、「ゆとり」という要因が抽出され、サンプル全体としては全ての要因が従業員満足に寄与しているという結果を得ることができたが、そのなかでも特に重要な要因として「チャレンジ度」、「知名度」、「給与」の 3 つの要因を特定した。</p> <p>上記調査結果を受け、本論文では提言として、経営者のコントローラブル性が強く、短期間で成果の出すことができる「給与」の項目について改善の試みを行い、従業員満足の土台を固めたうえで、「チャレンジ度」の向上を試みる具体的な施策として、主に従業員への権限委譲を段階的、かつ継続的に行うことを提言した。</p>					